

# 京都大学経営管理大学院 SDGsリーダーシップアワード2022 募集要項

Kyoto University GSM SDGs Leadership Award

(2022年7月11日制定)

## 1) 本アワードの趣旨

京都大学経営管理大学院SDGsリーダーシップアワードは、京都大学経営管理大学院において、大学院生および卒業生が推進するSDGsに関連した実践活動および研究活動を発掘し、それらの活動を促進することを目的としています。2022年度より設立されました。

### 【協賛】

みずほ証券寄附講座  
グローバル社会起業寄附講座  
シスメックス寄附講座  
SHIFT寄附講座

## 2) 概要

### 2-1) 対象となる活動

京都大学経営管理大学院の大学院生（卒業生も可）が推進する、SDGsに関連した実践活動および研究活動を対象とします。営利活動／非営利活動は問いません。個人による応募も、グループによる応募も可とします。

個人による応募の場合は、申請者が京都大学経営管理大学院の大学院生または卒業生である必要があります。グループによる応募の場合は、申請代表者が京都大学経営管理大学院の大学院生または卒業生である必要がありますが、他メンバーに他学部生や学外者が含まれていても問題ありません。他組織との協業によるプロジェクトも可とします。

### 2-2) 募集カテゴリー

募集カテゴリーは、以下の2種類とします。

#### (A) SDGsプロジェクト部門 (SDGs Project Award)

SDGsに関連するプロジェクト（ビジネス、教育活動等）を対象とする。

#### 【応募条件】

- 京都大学経営管理大学院の大学院生（卒業生も可）が、リーダーおよびそれに準じる立場（共同リーダー等）としてプロジェクトを推進していること。

#### (B) SDGs研究部門 (SDGs Research Award)

SDGsに関連する研究活動を対象とする。

#### 【応募条件】

- 学術的なアウトプットが存在すること。構想段階の研究は対象外。
  - 学術的なアウトプットとは、論文、学会発表、書籍、ワーキングペーパー、京都大学経営管理大学院修士レポート等を指す。応募の際に、論文等の原稿、学会発表抄録、書籍の要旨等のPDFを添付することを必須とする。
  - 在学生が応募する場合、ワークショップにおける中間段階のレポートに関しては、指導教官が「アワードに応募できる水準に達している」と許可すれば、応募することができる。ただし、最低限の条件として、レポートの体裁を成していることは必須とする。
- 学術的なアウトプットにおいて、筆頭著者または共著者に、京都大学経営管理大学院の大学院生（卒業生も可）が入っていること。

### 2-3) 付与される特典・義務

#### 【特典】

##### 1. SDGsプロジェクト部門賞

- 「SDGsプロジェクト部門」の応募から、特に優秀な実践活動を1件選出
- 副賞として、1件あたり最大15万円の賞金

##### 2. SDGs研究部門賞

- 「SDGs研究部門」の応募から、特に優秀な研究活動を1件選出
- 副賞として、1件あたり最大15万円の賞金

##### 3. SDGs特別賞（みずほ証券寄附講座賞、グローバル社会起業寄附講座賞）

- 両部門の応募から、各部門賞に次いで優秀な活動を最大2件選出
- 副賞として、1件あたり最大15万円の賞金

※ 一定の水準に達する応募がない場合は、該当なしとなる場合があります。

※ 賞金の払い渡し方法については後日詳細を公開します。

#### 【受賞者の義務】

- 受賞が決定した場合は、表彰式（選考終了後の2022年9月19日（月祝）にオンラインにて開催の予定）への出席をお願いいたします。
- 受賞が決定した場合は、受賞者の氏名、実践活動／研究活動タイトル、活動概要、受賞金額を、京都大学経営管理大学院WEBサイト上に公表します。

#### 【応募者全員の義務】

- 応募者全員の氏名、実践活動／研究活動タイトル、活動概要は、京都大学経営管理大学院においてアーカイブし、MBAの国際認証であるEQUISへの認証申請のために利用します。

### 3) 応募方法

3-1) に示す応募期間中に、3-3) に示す応募フォームに必要事項を記入の上、3-2) に示す提出物を運営事務局まで提出してください。

所定の様式は、WEBページ（<https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/accd/sdgsaward2022/>）よりダウンロードしてください。書類に不備がある場合は、原則として、選考の対象外となりますのでご注意ください。

#### 3-1) 応募書類受付期間

2022年7月11日（月） から 2022年8月11日（木） 23:59まで

#### 3-2) 提出書類

##### (A) SDGsプロジェクト部門 (SDGs Project Award)

- ①応募フォーム（所定の様式1、PDFファイル形式で添付）
- ②参考資料（自由書式、A4サイズ10枚以内、PDFファイル形式で添付）

##### (B) SDGs研究部門 (SDGs Research Award)

- ①応募フォーム（所定の様式2、PDFファイル形式で添付）
- ②論文等の学術的なアウトプット（PDFファイルを添付）

#### 3-3) 提出フォーム

以下のGoogleフォームより、必要事項を記入の上、提出書類を添付して応募してください。

【応募フォーム】 <https://forms.gle/WSpbb6XHF7kiqrQR8>

### 4) 選考

京都大学経営管理大学院において設置する審査委員会にて1次審査（2022年8月中旬、書類審査）を実施します。1次審査を通過した方については、2次審査のプレゼン動画（5～10分程度）をご提出頂き（2022年8月下旬を予定）、提出されたプレゼン動画を踏まえて審査委員会にて2次審査を実施の上、受賞者を決定いたします。受賞者の決定は、9月中旬を予定しています。

審査結果は、決定後直ちに各応募者宛に電子メールにて通知することを予定しております。採否理由のご照会については、回答いたしかねますのでご了承願います。

#### 4-1) 選考の流れ

##### 《募集期間》

1. 応募期間 【8月11日（木） 23:59まで】
  - 本応募要領の「3) 応募方法」に定める方法で、提出書類を提出

##### 《1次審査》書類選考

2. 1次審査期間：審査委員会による書類審査 【8月中旬を予定 2週間程度】
3. 1次審査通過者の通知 【8月中旬を予定】
  - 応募者に対して、1次審査の結果をメールにて通知します

##### 《2次審査》プレゼン動画審査

4. プレゼン動画提出期間 【8月下旬を予定 2週間程度】
  - 1次審査通過者には、Zoomを利用してプレゼン動画を録画・提出いただきます。
  - プレゼン動画では、資料を画面共有しながら、5～10分程度で、応募内容や申請者の強み等をご説明ください。
  - プレゼン動画の提出方法等の詳細は、改めて通知します。
5. 2次審査期間：審査委員会による審査 【9月中旬を予定 1週間程度】
6. 受賞対象者の決定・通知 【9月中旬を予定】

#### 《受賞者決定後》

7. 表彰式 【9月19日（月祝）を予定】

### 4-2) 審査観点

各部門について、以下の事項を踏まえ、総合的に優れたものを表彰します。

#### (A) SDGsプロジェクト部門 (SDGs Project Award)

1. SDGsに貢献する取組であるか（趣旨との合致）
2. 社会的インパクトが期待できるか／成果をあげているか（波及性）
3. 今後の持続性が期待できる取組であるか（持続性）
4. 申請者ならではの着眼点等を反映した独自性のある取組であるか（独自性）
5. 経営管理大学院で学んだ内容との関連

#### (B) SDGs研究部門 (SDGs Research Award)

1. SDGsに貢献する研究であるか（趣旨との合致）
2. 社会的インパクトが期待できるか／成果をあげているか（波及性）
3. 申請者ならではの着眼点等を反映した独自性のある研究であるか（独自性）
4. 経営管理大学院で学んだ内容との関連

### 4-3) 審査委員会

審査委員の公表は、審査の公平性を鑑みて、当該年度のSDGsリーダーシップアワードが終了した後に行います。

## 5) 個人情報等の取り扱いについて

- 応募の際にお送りいただいた個人情報は、本アワードの選考の目的以外には使用いたしません。
- 受賞が決定した場合は、受賞者の氏名、実践活動／研究活動タイトル、活動概要、受賞金額を、京都大学経営管理大学院WEBサイト上に公表します。
- 応募者全員の氏名、実践活動／研究活動タイトル、活動概要は、京都大学経営管理大学院においてアーカイブし、MBAの国際認証であるEQUISへの認証申請のために利用します。

## 6) 問い合わせ先

本アワードに関するお問い合わせは、以下の運営事務局までご連絡ください。

2022年度 SDGsリーダーシップアワード 運営事務局

京都大学経営管理大学院 アート・コミュニケーションデザインと組織経営寄附講座

メール：[takata.haruna.2x@kyoto-u.ac.jp](mailto:takata.haruna.2x@kyoto-u.ac.jp)（事務補佐員 高田晴奈）

講座WEBサイト：<https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/accd/>

以上